ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Opens Opportunities

2020-2021

第９回例会

ＲＩテーマ　　ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Open Opportunities
クラブテーマ　　原点から未来へ　Get Back To the Future

会　報　No. 1124　豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42　豊橋商工会議所内　TEL 0532-56-8566　FAX 0532-39-7520
会長：角谷 歩、副会長：西 崇秀、幹事：木所 壮太、出席・会報委員長：鈴木 康代

令和２年９月 16 日(水) 19:00～20:30
例会場:ホテルアークリッシュ豊橋 4F ザ･テラスルーム　　担当:職業奉仕

ロータリーソング「それでこそロータリー」/「四つのテスト」: 中村 成人 さん

ゲスト	東愛知新聞社　田中 博子 記者 東海日日新聞社　大林 恭子 記者

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	9月2日修正出席率	ビジター
53名	48名	5名	14名	70.83%	100%	1名

会長挨拶　　角谷　歩 会長

先週は、「ガバナー補佐訪問」というイベントをつつがなく終えることができました。皆様のご協力に感謝いたします。(当日の詳細は GBF つながり通信 vol.14 ご参照) 本日は、2 月 12 日より約 7 か月ぶり、正確には 217 日ぶりの円卓を囲んでの例会となります。本年度は、様々な新型コロナウィルス感染対策を講じた上での例会運営を行わざるを得ず、皆様には多くの「辛抱」をお願いしておりますが、今回は卓上にシールド／パーティションを導入してのトライアル／チャレンジとなります。円卓方式でのクラブフォーラム、短い時間ですが、活発なご議論を期待しております。

本日のプログラム　　クラブフォーラム

『　私の職場におけるコロナ対策と
改めて感じた職業観　』

馬渕 紀充 職業奉仕委員長　コロナ禍の中､初めての円卓での例会の為、各卓の人数を減らし、全員指定席としました。また、感染対策の一環として食事時間とテーブル討議の時間を区切りました。

【テーブル意見発表】

荒木 聖行 さん　歯医者さん。リスクが高いと言われていたが対策を徹底して行い、全国的にも数人くらいしか患者が出なかった。人の集まるところに花を添える仕事をしていたことを自覚した。

柴田 國汎 さん　コロナ前後で仕事の仕方が大幅に変わった。すべてズーム会議や動画で調査に変わった。

三輪 真大 さん　診察、車で順番を待ってもらった。テイクアウト、昼の営業等で対策をした。７月から少し良くなったがまた戻ってしまった。今年の冬を乗り越えたいと思う。

長本 康孝 さん　換気対策。公共事業のマスク体温管理が厳しかった。誹謗中傷しないまちづくりを。時間の有効活用という面で、会社を見直す要因となった。

近藤 喜典 さん　耐えながら勉強する。良い点としては、こどもといる時間が増えた。

後藤 秀成 さん　コロナ対策は一般的なものを。それが徹底できているのか。昔は呪いと言われていた。若い方よりも、戦前の方のほうが用心をする傾向がみられた。

中澤 理 さん　こんな思いを若い子にさせたくないと改めて感じた。コロナの影響がないオンライン校を開校した。やる気一つで未来が見える。

縣 秀尚 さん　自分の職業はエッセンシャルワークなのか､自身を見つめなおす機会となった。刑務所でアクリル板の穴がふさがれている等､様々な面でコロナの影響を感じた。

柳瀬 秀昭 さん　現場で対応しなければならない人の苦労は相当であった。職業観について､エッセンシャルワーカーの仲間入りをしたいと改めて感じた。都会と地方において、時間差で対応の差があった。

杉浦 正和 さん　ロータリーの方々に相談させてもらった事が会社へ活かせた。自身の価値観を見直す機会であり､難局を乗り切っていかないといけないことを改めて感じた。

【講評】白井 康仁 さん　クラブフォーラムの位置づけは、まとめる、結論を出す場所ではない。豊橋東 RC が、３月・４月・５月の３カ月間休みとなり、どうなるかと思った。テーブルが、スクール形式だと当クラブの強みである親睦が深められない。クラブフォーラムを行うにあたり､円卓で例会が出来うれしい。ただ、１テーブル４人だと話しづらいが、10 テーブルとなった事で発表者が増えたのは良い事である。四つのテストは、企業の危機の時使いはじめた。それを頭に入れ、指針として、新型コロナウィルスの危機を乗り越えて欲しい。四つのテストを朗読する時は、正しく読んで欲しい。

原稿：長本 康孝 さん ／ 写真：柴田 國汎 さん